

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に別紙の『安全上のご注意』と『使用上のご注意』をよくお読みください。
お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

主な特長

- 従来のコンパクト・アナログ・ディレイでは考えられなかったディレイ・タイム可変範囲（12.5ms ～ 800ms）と周波数特性（40Hz ～ 7kHz +1/-3dB）を実現しました。
- ペダル・スイッチはエフェクト ON/OFF とホールド ON/OFF の 2 ファンクションを装備し、デジタルならではのホールド効果が得られます。
- 2 アウトプット装備により、MONO、SEPARATE アウトの使いわけが可能です。

各部の名称とはたらき

DC IN 端子

AC アダプター（PSA-100：別売）を接続する端子です。AC アダプターを使用すると電池切れの心配がなく、長時間の演奏ができます。

※ AC アダプターを使用する場合でも、電池を入れておけば、万一本機から AC アダプターのコードが抜けても演奏が続けられます。

※ AC アダプターは、必ず指定のもの（PSA-100）を、AC100V の電源で使用してください。

※ 電池が入っている状態で AC アダプターを接続すると、電源は AC アダプター側から供給されます。

AC アダプター
(PSA-100：別売)

E.LEVEL つまみ

ディレイ音のレベルを調節するつまみです。右に回すと、ディレイ音が大きくなります（MAX でディレイ音とダイレクト音の大きさが同じになります）。

左に回しきると、モノラル時はダイレクト音のみ出力され、DIRECT OUT 使用（ステレオ）時は OUTPUT 端子からは出力されなくなります。

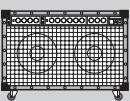
F.BACK つまみ

ディレイ音の繰り返しを調節するつまみです。右に回すと繰り返しの回数が多くなり、左いっぱいには回しきるとシングル・ディレイになります。

OUTPUT 端子

モノラル信号（ダイレクト音とディレイ音がミックスされた信号）を出力する端子です（DIRECT OUT 端子にプラグが接続されていない場合）。

※ ディレイ音のみを必要とする場合（ミキサーのエコー・センド、リターンで使用）、DIRECT OUT 端子に空プラグを接続してください。



ギター・アンプ

ペダル・スイッチ

エフェクト・オン／オフを切り換えるスイッチです。

サム・スクリュー

このサム・スクリューをゆるめるとペダルが開き、電池の交換が行えます。

※ 交換方法については『電池交換のしかた』をご覧ください。

CHECK（チェック）インジケーター

エフェクト・オン／オフの表示と、バッテリー・チェックの機能を兼ね備えたインジケーターです。

エフェクト・オン時に点灯して、エフェクト・オン／オフの確認ができます。

※ エフェクト・オン時にインジケーターが暗くなったり点灯しなくなったときは、電池が消耗していますので、新しい電池と交換してください。

※ CHECK インジケーターはエフェクト・オン／オフを表すインジケーターです。電源のオン／オフの表示ではありません。

D.TIME つまみ

ディレイ・タイムの微調整をします。レンジ設定値に対して×0.25 ～×1 まで連続的に変化します。右へ回すと長くなり、左へ回すと短くなります。

MODE つまみ

モードには、S、M、L、HOLD の 4 つのモードがあります。S、M、L の切り換えと D.TIME つまみの併用により、ディレイ・タイムを 12.5ms ～ 800ms まで連続的に変えることができます。

HOLD モードでは D.TIME つまみにより、ホールド時間を 200ms ～ 800ms まで変えることができます。

ペダル・スイッチを踏んでいる間のみ効果がかけられます。

INPUT 端子

エレクトリック・ギター、その他の楽器やエフェクターの出力を接続する入力端子です。



※ INPUT 端子は、電源スイッチも兼ねています。接続プラグを INPUT 端子に差し込むと電源がオンになり、抜くとオフになります。エフェクターを使用しないときは、INPUT 端子に接続しているコードを抜いてください。

DIRECT OUT 端子

プラグを接続すると、ダイレクト音出力され、ディレイ音は OUTPUT 端子から出力されます。

接続時のご注意

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

※ 正しく接続したら、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

電源を入れるとき： ギター・アンプなどの電源を最後に入れてください。

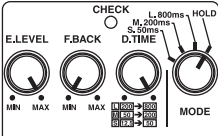
電源を切るとき： ギター・アンプなどの電源を最初に切ってください。

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

[2] ホールド効果

1. すべての接続が終わったら、パネル面のつまみを図のようにセットします。

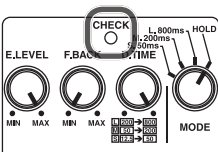
※ ホールド ON 時、フィードバック効果ははたきません。



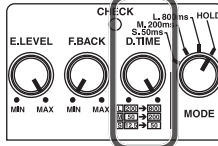
2. ペダル・スイッチを踏み込み、インジケーターが点灯するとホールド ON です。ペダルを放しインジケーターが消えるとホールド OFF（ノーマル）です。

※ フレーズを弾いたあとペダルを踏むと、直前の音がホールドされます。

※ ペダル・スイッチはアン・ラッチ（踏み込んでいる間のみホールド）で動作します。



3. ホールド・タイムは、D.TIME つまみで調節（200ms ～ 800ms）します。ホールド ON 時、D.TIME つまみを左に回すと、ホールドした音のピッチが上がります。左に回した状態でホールドし、右へ回すとピッチ下がります。



電池について

※ この機器には、工場出荷時に電池がセットされています。この電池は検査用のため、寿命が短い場合があります。

※ 電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。

※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。別紙『安全上のご注意』『使用上のご注意』に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。

※ 電池駆動のときは、電池が消耗してくるとインジケーターが暗くなります。早めに電池を交換してください。

※ 電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前に行ってください。

電池交換のしかた

1. ペダル・スイッチを押さえながらサム・スクリューをゆるめて、ペダルを上を開きます。

※ サム・スクリューは完全に取りはずすことなく、ペダルを開けられます。

2. バッテリー・ケースから電池を取り出し、電池スナップをはずします。

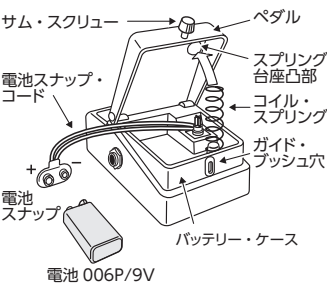
3. 新しい電池を電池スナップに接続し、バッテリー・ケースに入れます。

※ 電池の極性（+/-）を間違えないようにご注意ください。

4. コイル・スプリングをペダル裏のスプリング台座凸部に入れ、ペダルを閉じます。

※ ペダルやコイル・スプリング、バッテリー・ケースなどに、電池スナップ・コードをはさまないようにご注意ください。

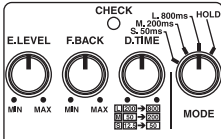
5. サム・スクリューをガイド・ブッシュ穴に入れ、確実に締めてください。



操作方法

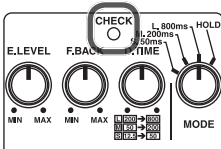
[1] ディレイ（エコー）効果

1. すべての接続が終わったら、パネル面のつまみを図のようにセットします。



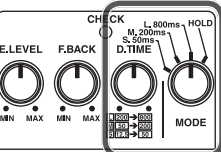
2. ペダル・スイッチを踏み込み、インジケーターが点灯するとエフェクト ON、消えるとエフェクト OFF です。

※ このインジケーターはバッテリー・チェックも兼ねています。暗い場合や点灯しないときは電池が消耗していますので、新しい電池と交換してください。



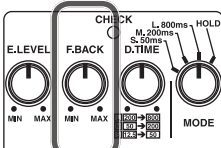
3. MODE つまみでディレイ・タイム・レンジを設定し、D.TIME つまみを適当な位置にセットします。

※ ご使用になる楽器の音質と D.TIME つまみの設定位置により、ビート音が発生して音が濁ることがあります。この場合 D.TIME つまみを少し左に回すことで、ビート音を減らすことができます。



4. F.BACK つまみを適当な位置にセットし、繰り返しの回数を調節します。

※ 右に回しすぎると発振することがあります。



5. ディレイ音のレベルを適当な強さにセットします。

※ MAX でディレイ音とダイレクト音の大きさが同じになります。

※ DIRECT OUT 端子使用時、MIN にすると OUTPUT 端子からの出力が「0」になります。

